

# エコアクション21

## 環境経営レポート

発行 令和6年8月26日



土佐清水市三崎地区の桜浜からの景色



対象期間 2024年度『2023年7月1日から2024年6月30日』

地域とともに・時代とともに

三崎建設有限公司

## 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日： 2024年8月26日

発行責任者：環境管理責任者 猪谷昭彦

次回発行予定： 2025年8月20日頃

## 1. 組織の概要

【事業所名】 三崎建設有限会社

【代表者氏名】 代表取締役 猪谷昭彦

### 【所在地】

本社 高知県土佐清水市三崎4288番地

倉庫 高知県土佐清水市三崎大今

### 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 代表取締役 猪谷昭彦

連絡先 TEL: 0880-87-9008  
FAX: 0880-87-9016  
E-mail: [k.nakahira@titan.ocn.ne.jp](mailto:k.nakahira@titan.ocn.ne.jp)

### 【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業

建設業許可

許可番号 知事（搬-28）第4747号

許可年月日 2025年10月14日迄

建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、造園工事業、水道施設工事業、塗装工事業、解体工事業

### 【産業廃棄物収集運搬業許可】 「自社工事の運搬のみ」

- 許可の内容
- ・収集運搬業許可番号 3900199846
  - ・許可年月日 平成30年1月30日
  - ・許可の有効期限 令和7年1月29日
  - ・事業区分：収集運搬
  - ・収集運搬する廃棄物の種類

廃プラスチック類	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず
コンクリートくず	陶磁器くず	がれき類		

### ○施設等の状況 ・運搬車両の種類と台数

ダンプトラック3t車1台 ダンプトラック4t車2台

ユニック付きトラック8t車1台

### 【事業規模】

設立年月日 昭和56年6月30日

資本金 1,000万円

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
製品生産量・出荷額（売上高） （千円）	62,348	153,472	139,590	108,262	89,617
従業員数（名）	10	10	10	10	10
事業所敷地面積（ $m^2$ ）	3,234	3,234	3,234	3,234	3,234
事務所の床面積（ $m^2$ ）	89	89	89	89	89

従業員数は、2024年7月30日現在 10名

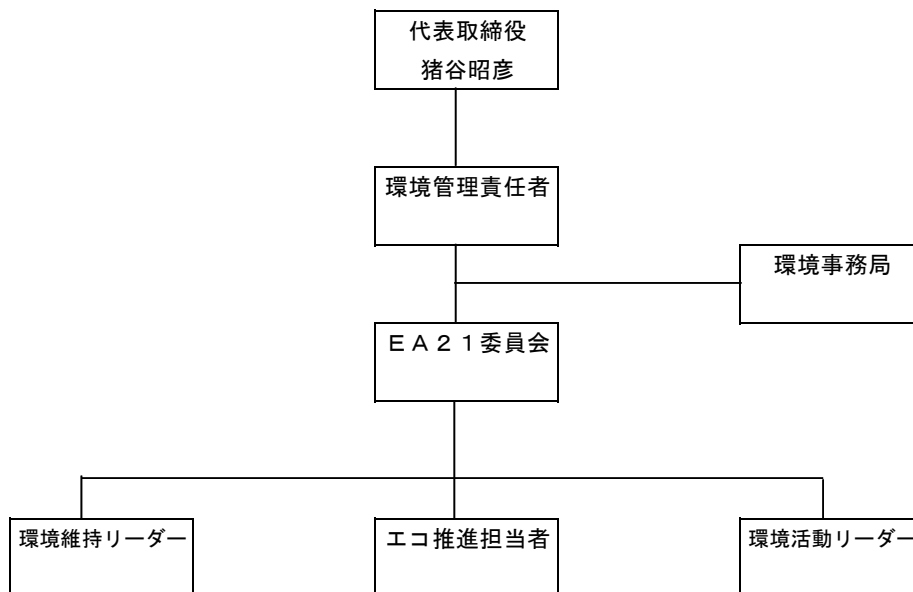
会計年度 7月 ～ 6月

## 対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO <sub>2</sub> 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO <sub>2</sub> 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

#### 4. 環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任</li> <li>・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備</li> <li>・ 環境管理責任者を任命</li> <li>・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認</li> <li>・ 代表者による全体評価と見直し実施</li> <li>・ 環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認</li> <li>・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局</li> <li>・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成</li> <li>・ 環境活動の実績集計</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・ 環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施</li> <li>・ 自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告</li> <li>・ 自部門に係る緊急事態訓練の実施</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

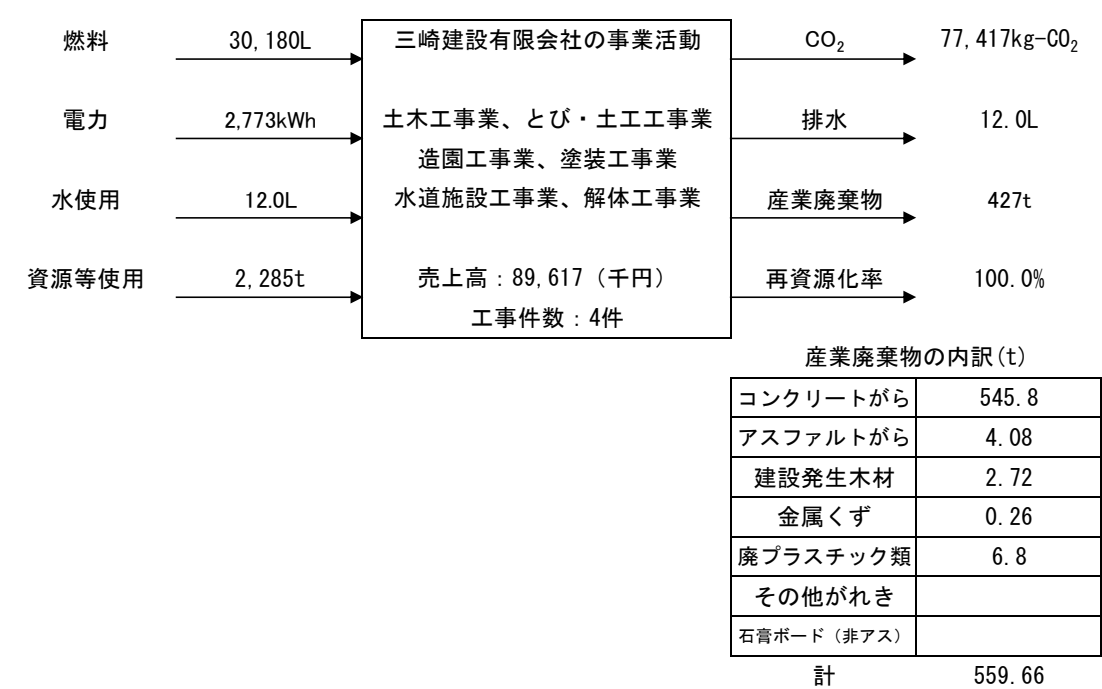
5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション2.1ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

- 燃料使用量については、環境目標に対して増となりました。  
工事受注量は前年度より減りました。
- 燃料使用量の削減については次年度に向けて努力をいたします。
- 電力使用量の削減については、事務所照明の不使用时の徹底消灯を行いました。  
その結果電力使用量は削減ができました。
- CO<sub>2</sub>排出削減については  
CO<sub>2</sub>の排出量は、77,417kg-CO<sub>2</sub>となっています。（前年度81,696kg-CO<sub>2</sub>）  
前年と比較して4,279kg-CO<sub>2</sub>の減となりました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（12回）、近隣の清掃活動（6回）を実施しております。

三崎建設有限会社の物質フロー（2024年度）



### 3. 環境経営方針

#### 【環境経営理念】

三崎建設有限会社は足摺宇和海国立公園内の高知県土佐清水市三崎地区に拠点を置き建設事業を行っています。三崎地区には「竜串」「見残し」という観光スポットがあり、美しい景観の沿岸域に自然が生み出した奇岩の数々が多様な造形を見せています。また、「海底館」という施設は海中の自然環境を覗き楽しむことができます。もう一つの「海洋館」は水族館ですが地域の黒潮に育った魚介類をはじめ、たくさんの生き物を鑑賞できます。

この地域で建設事業を行うことは環境への配慮が大変重要であります。地域の環境保全と、その継承の重要性を認識し、建設事業における環境への影響を考慮して全社で継続的改善による環境経営に努め、環境負荷の削減に取り組めます。

環境負荷の低減及び持続可能な循環型社会構築に向けて人と環境が調和できる資源循環型社会の形成と地域の環境をより美しく次世代へ引き継ぐことを理念とし、地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

今後は環境経営に向けて、より努力をまいります。

#### 【基本方針】

1. 建設工事において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減に努力し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量削減に努力します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減をします。
6. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
7. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
8. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

2024年8月20日

代表取締役

猪谷昭彦

## 6. 環境経営目標

### 中長期目標

項目	単位	2023年度 実績（基準年）	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	81,696	80,879	79,261	76,884
電力使用量	(kWh)	2,865	2,836	2,780	2,696
ガソリン使用量	(ℓ)	7,280	7,207	7,063	6,851
軽油使用量	(ℓ)	24,434	24,190	23,706	22,995
灯油使用量	(ℓ)	100	99	97	94
水使用量	(m <sup>3</sup> )	13	13	13	12
一般廃棄物排出量	(kg)	83	82	81	78
産業廃棄物排出量	(t)	407	403	395	383
産業廃棄物再資源化率	(%)	95.6	95	93	90
環境負荷の少ない工事	件	4件/4件	全件	全件	全件
環境美化活動	(回)	12	12	12	12

- \* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（2024年度実績）  
（令和4年7月14日公表）の四国電力の調整後排出係数 0.574（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。
- \* 2. グリーン購入量は、製品購入目的数量に対する環境商品の購入数量（%）
- \* 3. 環境負荷の少ない工事
  - 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
  - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
  - 型枠、工事看板への間伐材の使用
  - 濁水防止対策の実施



## 7. 環境経営計画

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	責任者	期間		
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコ安全運転の実施	池 哲生 各現場代理人	R5年7月～R6年6月		
		○運行車両の法定速度遵守				
		○アイドリングストップ実施				
		○車両の定期点検整備により排気ガス抑制				
		○重機の稼働停止時はエンジン停止				
	電力使用量 削減	○冷暖房器の温度管理（冷房時28℃ 暖房時20℃）	猪谷朱美	R5年7月～R6年6月		
		○昼食時、外出、退社時の消灯				
		○電子機器の電源（OFF）管理				
○エコ照明、電源の管理						
用水使用量削減 （排水量削減）		○水道水の節水推進	中平和雄	R5年7月～R6年6月		
		○使用蛇口付近への節水シール張り				
		○毎月の使用量確認				
		○月使用量確認後の更なる節水意識				
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別、リサイクル化	猪谷朱美	R5年7月～R6年6月		
		○コピー用紙の裏面利用				
		○コピーのミスプリント防止				
		○廃棄紙や使用済み封筒等の利用（メモ用紙等）				
	産業廃棄物	○廃棄物の分離分別の徹底、適正処理	川上昭則 各現場代理人	R5年7月～R6年6月		
		○再資源化処理業者に委託する				
		○リサイクル資源の活用				
		○資材発注時の数量チェックによる残余資材抑制				
グリーン購入		○器具、備品の長期使用を行う	猪谷朱美	R5年7月～R6年6月		
		○グリーン商品の優先的購入				
		○エコ商品の購入				
環境負荷の少ない工事		○環境配慮型資材の優先購入	猪谷朱美	R5年7月～R6年6月		
		○環境負荷の少ないリサイクル品の使用				
		○県内産木材利用品の使用				
		○工事看板等の間伐材利用品使用				
		○低騒音、排出ガス対策型の重機使用				
		○汚濁防止対策の実施				
社会貢献活動		○現場内及び周辺環境保全に努める	浜田貴之 各現場代理人	R5年7月～R6年6月		
		○ロードボランティア活動				
		○会社周辺環境の整備				
		○地域主体の清掃活動に参加				
環境教育・訓練等		○工事現場周辺の環境美化整備	川上昭則	R5年7月～R6年6月		
		○社員全員参加の定期的環境会議実施			猪谷昭彦	R5年7月～R6年6月
		○緊急時を想定の訓練実施				
環境保全		○構成メンバーによる環境保全活動	中平和雄	R5年7月～R6年6月		
		（生物多様性について保全活動）				

## 8. 環境経営目標の実績

### 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2023年度 2022.7-2023.6	2024年度 目標 2023.7-2024.6	2024年度 実績 2023.7-2024.6	目標値／実績値 (%)	評価 目標に対して
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	81,696	80,879	77,542	104.3%	○
電力使用量	総量	(kWh)	2,865	2,836	2,773	102.3%	○
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,280	7,207	7,315	98.5%	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	24,434	24,190	22,720	106.5%	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	100	99	145	68.3%	×
電力使用量	総量	(kWh)	2,865	2,836	2,773	102.3%	○
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	13	13	12	107.3%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	83	82	83	99.0%	×
産業廃棄物排出量	総量	(t)	407	403	427	94.4%	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	95	95	99.6%	×
環境負荷の少ない工事	総量	件	4件/4	全件	4件/4件	100.0%	○
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	100.0%	○

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（平成28年度実績）

（令和4年7月14日公表）の四国電力の調整後排出係数 0.574（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. グリーン購入量は、製品購入目的数量 に対する環境商品の購入数量（%）

（目的数量20品に対して購入品数は17品）

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○濁水防止対策の実施

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

\* 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

### <環境経営目標未達成等理由>

ガソリンの使用量は工事量増加及び工事現場が遠方の現場であり往復の通勤距離が影響し、使用量の増となった。

重機の使用する燃料は減となった。

灯油の使用量は僅かに増となった。

電力使用量は会社事務所での節電活動が効果を示しています。

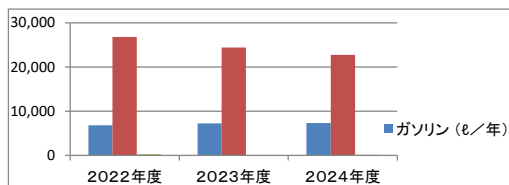
水の使用量も節水努力が効果を示し減少しています。

産業廃棄物排出量は工事の計画内容によるものなので減少は困難でした。

## 燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）

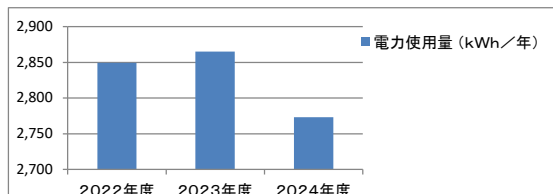
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2022年度	6,833	26,770	288
2023年度	7,280	24,434	100
2024年度	7,315	22,720	145



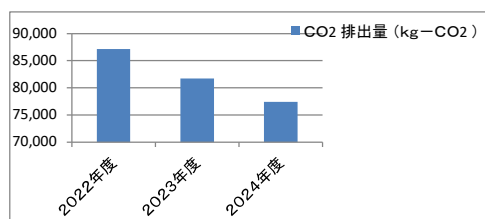
## 電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2022年度	2,849
2023年度	2,865
2024年度	2,773



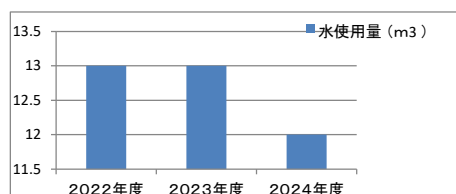
## CO<sub>2</sub> 排出量（総量：(kg-CO<sub>2</sub>)

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )
2022年度	87,145
2023年度	81,696
2024年度	77,417



## 水使用量（総量：m<sup>3</sup>）

年度	水使用量 (m <sup>3</sup> )
2022年度	13
2023年度	13
2024年度	12

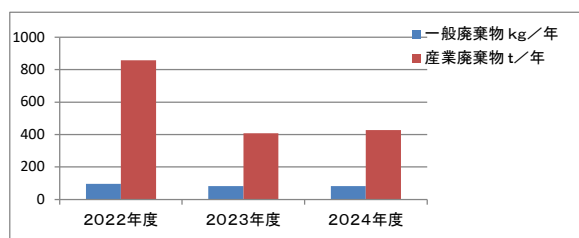


## 廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg／年

単位：産業廃棄物 t／年

年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
2022年度	96	858
2023年度	83	407
2024年度	83	427



## 産業廃棄物再資源化率（％）

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2022年度	100
2023年度	95.6
2024年度	95

## 環境負荷の少ない工事（％）

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2022年度	100
2023年度	100
2024年度	100

## 環境美化活動（回）

年度	環境美化活動 (回)
2022年度	12
2023年度	12
2024年度	12

## 9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	1Q	2Q	3Q	4Q	取組結果	評価 ○×	見直し
CO <sup>2</sup> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコ安全運転の実施	○	○	○	○	全社員のエコ安全運転ができています。	○	全項目の活動において継続し、見直しは無い。
		○運行車両の法定速度遵守	○	○	○	○	車両運転には全員が法定速度を遵守している。	○	
		○アイドリングストップ実施	○	○	○	○	全車両使用に於いて実施している。	○	
		○車両の定期点検整備により排気ガス抑制	○	○	○	○	全車両の定期点検整備を行っている。	○	
		○重機の稼働停止時はエンジン停止	○	○	○	○	全重機の稼働停止時においてエンジン停止を励行。	○	
	電力使用量 削減	○冷暖房器の温度管理（冷房時28℃ 暖房時20℃）	○	○	○	○	冷暖房器の温度管理は励行している。	○	
		○昼食時、外出、退社時の消灯	○	○	○	○	消灯活動は良くできている。	○	
		○電子機器の電源（OFF）管理	○	○	○	○	必要時以外の電源オフは良くできている。	○	
		○エコ照明、電源の管理	○	○	○	○	電源管理は良くできている。	○	
用水使用量削減 （排水量削減）		○水道水の節水推進	○	○	○	○	節水活動は良くできている。	○	
		○使用蛇口付近への節水シール張り	○	○	○	○	実施している。	○	
		○毎月の使用量確認	○	○	○	○	毎月実施している。	○	
		○月使用量確認後の更なる節水意識	○	○	○	○	意識向上を行っている。	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別、リサイクル化	○	○	○	○	分別、リサイクル化は良くできている。	○	
		○コピー用紙の裏面利用	○	○	○	○	メモ用紙利用及び再プリントに利用できている。	○	
		○コピーのミスプリント防止	○	○	○	○	コピー前に確認ができています。	○	
		○廃棄紙や使用済み封筒等の利用（メモ用紙等）	○	○	○	○	メモ用紙利用ができています。	○	
	産業廃棄物	○廃棄物の分離分別の徹底、適正処理	○	○	○	○	分別、整理、適正処理ができています。	○	
		○現場発生廃棄物の適正処理	○	○	○	○	適正に処理がされている。	○	
		○リサイクル資源の活用	○	○	○	○	良くできている。	○	
		○資材発注時の数量チェックによる残余資材抑制	○	○	○	○	余分な資材注文をしないようにできています。	○	
		○器具、備品の長期使用を行う	○	○	○	○	点検整備を行い長期使用ができています。	○	
グリーン購入		○グリーン商品の優先的購入	○	○	○	○	優先的購入ができています。	○	
		○エコ商品の購入	○	○	○	○	できています。	○	
		○環境配慮型資材の優先購入	○	○	○	○	できています。	○	
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ないリサイクル品の使用	○	○	○	○	できています。	○	
		○県内産木材利用品の使用	○	○	○	○	できています。	○	
		○工事看板等の間伐材利用品使用	○	○	○	○	できています。	○	
		○低騒音、排出ガス対策型の重機使用	○	○	○	○	全重機が対応している。	○	
		○汚濁防止対策の実施	○	○	○	○	できています。	○	
		○現場内及び周辺環境保全に努める	○	○	○	○	できています。	○	
社会貢献活動		○ロードボランティア活動	○	○	○	○	良くできています。	○	
		○会社周辺環境の整備	○	○	○	○	良くできています。	○	
		○地域主体の清掃活動に参加	○	○	○	○	良く行われている。	○	
		○工事現場周辺の環境美化整備	○	○	○	○	良くできています。	○	
環境教育・訓練等		○社員全員参加の定期的環境会議実施	○	○	○	○	できています。	○	
		○緊急時を想定した訓練実施	○	○	○	○	できています。	○	

## 具体的な取組状況

### 1. CO<sub>2</sub> 排出量削減

#### (1) 燃料使用量削減



##### 車の乗り合わせ

工事現場への往復移動には相乗りをしています。  
燃料使用量の削減に努めています。



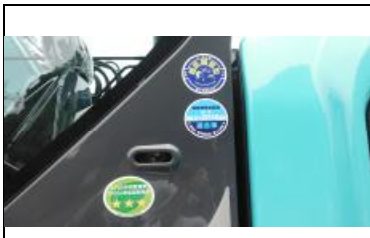
##### 重機の更新

2020年5月に重機1台を更新しました。  
燃料使用量は大幅な削減機種となっています。



##### 急発進・急加速・急停止の禁止

2018年7月から社用車内に「エコドライブ推進」のシール  
を貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



##### 重機の燃費基準

2020年燃費基準を100%達成機種



##### NETISシステム搭載機種

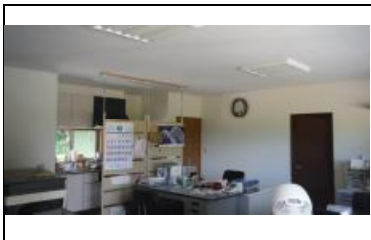
アイドリングストップ自動化機能で燃料消費量を20.8%削減。  
CO<sub>2</sub>排出量も大幅に削減されます。



##### 車両整備・点検

定期的に車両の整備点検を行っています。

## (2) 電力使用量削減



### 昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み（１２時～１３時）消灯し、節電に努めています。



### 昼休み及び外出時の消灯

昼休み及び外出時の消灯を徹底しています。

## 2. 用水使用量の削減



### 節水シール貼付

（２０１８年７月設置）

本社事務所内の水道蛇口に節水シールを張り付け、啓発を図っています。

## 3. 廃棄物の削減

### (1) 一般廃棄物の削減



### ゴミの分別の徹底・計量管理

分類されたゴミの計量と記録を行っています。  
排出されるゴミの量を把握し減量に努めています。



### ゴミの分別

（分別箱２０１８年７月設置）

分別してリサイクル化に努めています。

## (2) 産業廃棄物



### 産業廃棄物分別の徹底

(工事現場での分別置場)

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。



### 工事現場での産廃物集積

施工中の産廃物を集積管理



### 廃棄物の分別

産廃物と一般廃棄物の分類を施工現場で行っています。

## 4. グリーン購入



### 事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。



### グリーン商品の購入

現場写真等の撮影時に使用する黒板用チョーク。



### グリーン商品の購入

コンクリート工事等で特に使用量が多い目地材。



## 5. 環境負荷の少ない工事



### 低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称: 四国のみち整備工事竜串園地

工事期間: 2020年1月23日 ~ 2020年7月15日

工事場所: 高知県土佐清水市竜串

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



### 環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称: 以布利川河川改修工事

工事期間: 2020年9月19日 ~ 2021年2月7日

工事場所: 高知県土佐清水市以布利

工事用材料の、裏込材にはリサイクル材を使用し、環境負荷低減に努めました。



### 工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称: 普通河川大碓谷川河川災害復旧工事

工事期間: 2019年1月23日 ~ 2020年11月15日

工事場所: 高知県土佐清水市浦尻

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



### 濁水防止対策の実施

工事名称: 国道321号防災・安全交付金工事

工事期間: 2022年10月20日 ~ 2023年5月31日

工事場所: 高知県土佐清水市久百々

工事現場から発生する濁水をマットで堰き止め、汚濁水が下流に汚れないよう努めています。

## 6. 環境美化活動



### ロードボランティア活動

三崎地区周辺及び国道321号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

(年12回実施)



### 工事現場の美化活動

工事現場でのゴミ収集作業。



## 10. 次年度の取組内容 環境経営計画

(2025年度)

期間： 2024年 7月 ～ 2025年 6月

項目		活動内容	責任者	期間
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコ安全運転の実施	池 哲生 各現場代理人	R6年7月～R7年6月
		○運行車両の法定速度遵守		
		○アイドリングストップ実施		
		○車両の定期点検整備により排気ガス抑制		
		○重機の稼働停止時はエンジン停止		
	電力使用量 削減	○冷暖房器の温度管理（冷房時28℃ 暖房時20℃）	猪谷朱美	R6年7月～R7年6月
		○昼食時、外出、退社時の消灯		
		○電子機器の電源（OFF）管理		
○エコ照明、電源の管理				
用水使用量削減 （排水量削減）		○水道水の節水推進	中平和雄	R6年7月～R7年6月
		○使用蛇口付近への節水シール張り		
		○毎月の使用量確認		
		○月使用量確認後の更なる節水意識		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別、リサイクル化	猪谷朱美	R6年7月～R7年6月
		○コピー用紙の裏面利用		
		○コピーのミスプリント防止		
		○廃棄紙や使用済み封筒等の利用（メモ用紙等）		
	産業廃棄物	○廃棄物の分離分別の徹底、適正処理	川上昭則 各現場代理人	R6年7月～R7年6月
		○再資源化処理業者に委託する		
		○リサイクル資源の活用		
		○資材発注時の数量チェックによる残余資材抑制		
		○器具、備品の長期使用を行う		
グリーン購入		○グリーン商品の優先的購入	猪谷朱美	R6年7月～R7年6月
		○エコ商品の購入		
		○環境配慮型資材の優先購入		
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ないリサイクル品の使用	浜田貴之 各現場代理人	R6年7月～R7年6月
		○県内産木材利用品の使用		
		○工事看板等の間伐材利用品使用		
		○低騒音、排出ガス対策型の重機使用		
		○汚濁防止対策の実施		
		○現場内及び周辺環境保全に努める		
社会貢献活動		○ロードボランティア活動	川上昭則	R6年7月～R7年6月
		○会社周辺環境の整備		
		○地域主体の清掃活動に参加		
		○工事現場周辺の環境美化整備		
環境教育・訓練等		○社員全員参加の定期的環境会議実施	猪谷昭彦	R6年7月～R7年6月
		○緊急時を想定の訓練実施		
環境保全		○構成メンバーによる環境保全活動	中平和雄	R6年7月～R7年6月
		（生物多様性について保全活動）		

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

最新版確認日 令和6年6月30日

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

確認日 令和6年6月30日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者 責任者	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	猪谷昭彦	遵守
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	猪谷朱美	遵守
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場代理人	遵守
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	中平和雄	遵守
	第14条 第14条の一 12項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	猪谷昭彦	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	現場代理人	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	現場代理人	遵守
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m <sup>2</sup> 以上 新築・増築：床面積500m <sup>2</sup> 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	猪谷昭彦	遵守
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条 の15	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	猪谷昭彦	遵守
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	猪谷昭彦	遵守
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に届出提出（作業前）	必要時		
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 簡易点検	1回／3年 1回／年 1回／年 1回／3ヶ月	猪谷昭彦	遵守
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	猪谷朱美	遵守
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	猪谷昭彦	遵守
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	猪谷昭彦	遵守
土佐清水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第4条	○市民及び事業者の責務 廃棄物の排出抑制、再生品の利用を図り、廃棄物を分別排出し減量その他の適正処理	必要時	猪谷朱美	遵守

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年7月より令和6年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

## 12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

■定期見直し  
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>【取組状況の評価結果】</b> ①環境関連法規制等の遵守状況 令和5年7月から令和6年6月までの環境関連法規等への違反も無く、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。  ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 令和5年7月1日～令和6年6月30日迄の間、問題点は無く、是正処置はありません。予防処置も行っていない。  ③前回までの代表者の指示事項への対応 指示事項等はありません。  <改善提案> 改善の提案は特にありません。				<b>【環境経営方針】</b> 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  変更はありません。	
<b>【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】</b>				<b>【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】</b> 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  変更はありません。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
燃料使用量	×	×	次年度に向けて努力が必要		
電力使用量	○	○	問題なし		
CO <sub>2</sub> 排出量	○	○	問題なし		
水使用量	○	○	問題なし		
一般廃棄物排出量	○	○	問題なし		
産業廃棄物排出量	○	○	問題なし		
グリーン購入量	○	○	問題なし		
環境負荷の少ない工事	○	○	問題なし		
環境美化活動	○	○	問題なし		
<改善提案>				<b>【実施体制】</b> 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  変更はありません。	
<b>【周囲の変化の状況】</b> ①外部コミュニケーション記録より 令和5年7月1日～令和6年6月30日迄の間、外部からの苦情はありません。  ②環境関連法規制等の動向他 無し  <改善提案> 無し				<b>【総括】</b> (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)  新しい年度への取り組みの重要課題として、使用燃料の削減を更に活動を重視して取り組む努力を行う。 環境経営システムは有効に機能している。	
<b>代表者が自ら得た情報</b>					
特に無し				令和6年8月20日 代表取締役 <b>猪谷昭彦</b>	